

第9回ITSシンポジウム

モード多様化による サステイナブル交通社会の実現

大西啓介 株式会社ナビタイムジャパン

土井勉 京都大学

吉井稔雄 愛媛大学

吉本隆一 日本ロジスティックスシステム協会



京都大学大学院工学研究科・医学研究科
安寧の都市ユニット
Unit for Liveable Cities, KYOTO UNIVERSITY

はじめに

何故，

「モード多様化によるサステイナブル
交通社会の実現」が必要なのか？

これまでの交通に求められてきた
便利，安全，快適，経済性，記号的所有等
さらに異なる価値が期待されるように



京都大学大学院工学研究科・医学研究科

安寧の都市ユニット

Unit for Liveable Cities, KYOTO UNIVERSITY

KU ULC DOI

背景

時代の潮流が変化

高齢社会の進展

環境問題の深刻化

コミュニケーションへの期待

地域社会の重視

.....

モータリゼーションからの転換 自動車保有からの反転

国内：新車販売実績の推移

新車販売台数の推移

クルマの保有コスト

持っているだけで：約1,150円/日

普通に使って：約2,000円/日（約70万円/年）

科学警察研究所

http://www.jiji.com/jc/v?p=v_e_eco_car-newsales-japan



2台以上の保有は当たり前だけどしんどい



京都大学大学院工学研究科・医学研究科

安寧の都市ユニット

Unit for Liveable Cities, KYOTO UNIVERSITY

（自販連・全軽自協調べ）

KU "ULC" DOI

モータリゼーションからの転換 ロードサイドショップ

青山商事、新店は大都市駅前に 自動車利用者減に対応
(2010年5月26日, 日経朝刊)

洋服の
青山

紳士服チェーン最大手の青山商事は、主力業態「洋服の青山」の出店戦略を大幅に見直す。これまで郊外幹線道路沿いに約9割の店を展開してきたが、今後は首都圏を除き新店は政令指定都市など大都市の駅前に絞る。

環境：低炭素社会と交通

温室効果ガスの約2割は交通から

交通手段別CO2排出量

g-CO2/人km

鉄道

19

自動車, バス, 鉄道, 自転車, 徒歩
地域に応じた適切な組み合わせが必要

自家用乗用車

168

0 50 100 150 200

交通エコロジー・モビリティ財団「運輸・交通と環境2009年版」

京都大学大学院工学研究科・医学研究科

安寧の都市ユニット

Unit for Liveable Cities, KYOTO UNIVERSITY

KU ULC DOI



都市構造・都市政策の潮流

コンパクトシティ, 環境都市, スマートシティ, 安寧の都市...



ストラスブール(フランス)

京都大学大学院工学研究科・医学研究科

安寧の都市ユニット

Unit for Liveable Cities, KYOTO UNIVERSITY



ボローニャ(イタリア)



モード多様化による サステイナブル交通社会の実現



京都大学大学院工学研究科・医学研究科
安寧の都市ユニット
Unit for Liveable Cities, KYOTO UNIVERSITY

本日の話題提供

- 自転車，公共交通への転換と連携

土井勉 京都大学

- 個人向け情報提供の現状と課題

大西啓介 株式会社ナビタイムジャパン

- 情報提供によるモード多様化の可能性

吉井稔雄 愛媛大学

- 物流の効率化

吉本隆一 日本ロジスティックスシステム協会

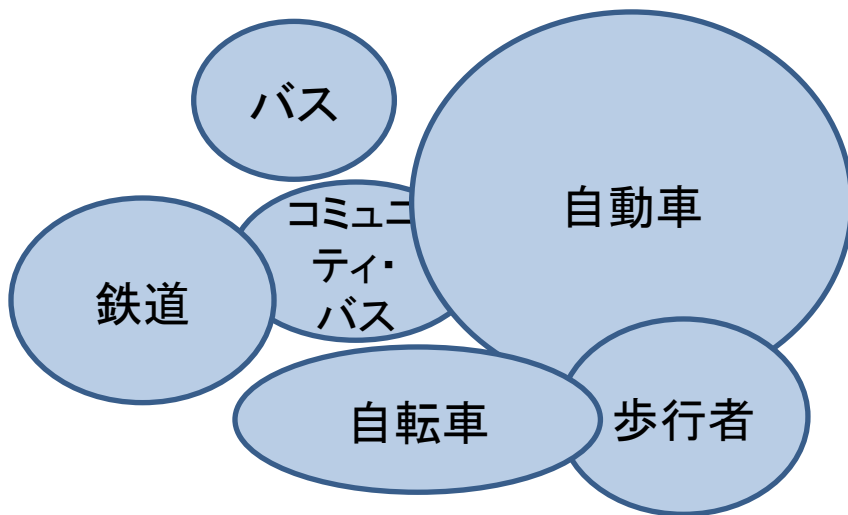
本日の議論

- 1) モードシフトを促すために必要となる取り組み
- 2) 情報提供に関する課題
- 3) 物流に関する課題

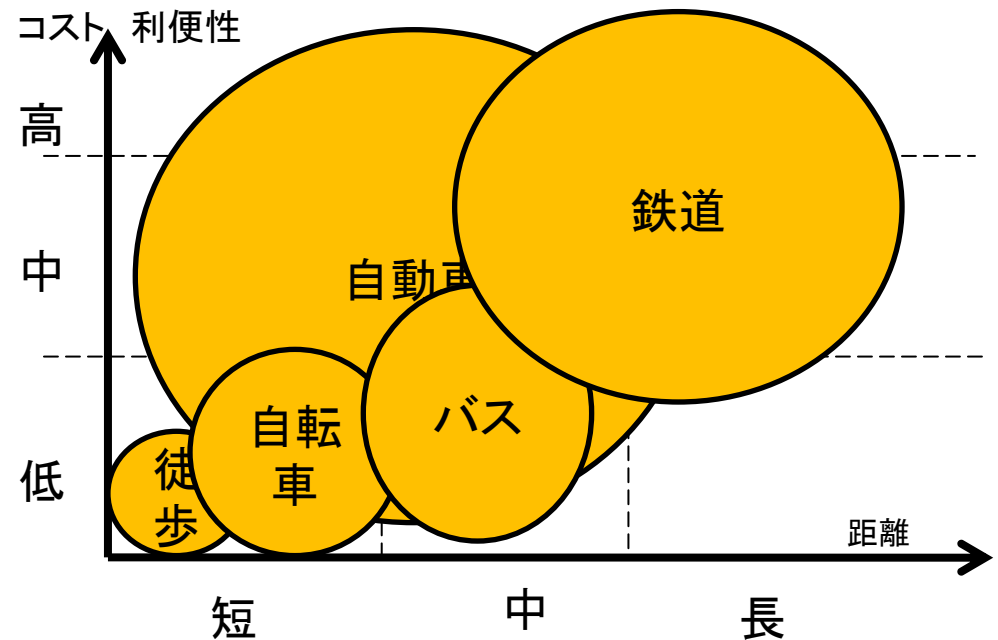
.....

これからの交通政策

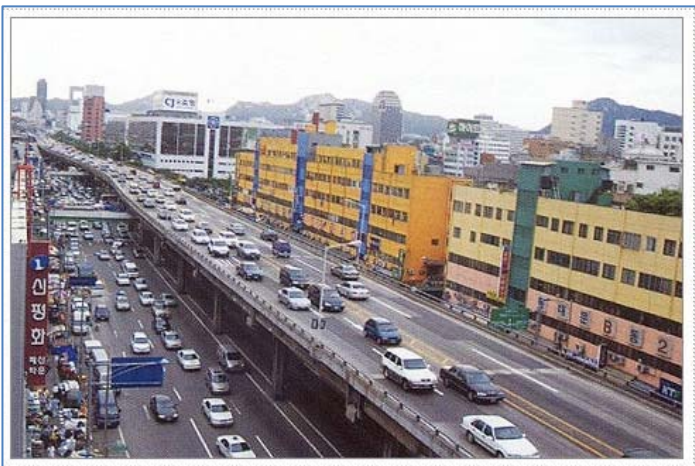
これまでの交通政策
モード別に考えてきた



これからの交通政策
総合交通政策が世界的潮流



世界の総合交通政策 例えば, ソウル



http://www.metro.seoul.kr/kor2000/chungae/home/en/seoul/sub_hm/4sub_03.htm



西田純二氏
提供



KU ULC



サステイナブル交通社会実現のために 情報技術を活用したモード転換が期待される

